

7. 特別入試

(1) アドミッション・オフィス（AO）入試

専門学科・総合学科特別入試（理工学部）

(1/1)

実施学部・学科名	理工学部	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科
募集人員	(学科)	(募集人員)
	化学・生物化学科	2名
	機械知能システム理工学科	4名
	環境創生理工学科	2名
	電子情報理工学科	5名
出願資格	<p>高等学校若しくは中等教育学校の、職業に関する学科又は総合学科を卒業した者、又は平成30年3月卒業見込みの者で、下記の要件を満たす者</p> <p>◎ 化学・生物化学科/環境創生理工学科/電子情報理工学科 次の(1)(2)を全て満たす者</p> <p>(1) 出身学校において職業に関する教科・科目(注)を20単位以上修得又は修得見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>(注) 職業に関する教科・科目とは、農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の各専門教科に属する科目に、「産業社会と人間」（これに準ずる学校設定教科・科目を含む。）を加えた教科・科目をいう。</p> <p>◎ 機械知能システム理工学科 次の(1)(2)を全て満たす者</p> <p>(1) 出身学校において工業又は情報に関する教科・科目を20単位以上修得又は修得見込みの者</p> <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>	
出願要件		
選抜方法	<p>第1次選抜（出願時提出書類による審査）と、第2次選抜（第1次選抜合格者に対して行う試験）の結果を総合して選抜します。</p> <p>第1次選抜 出願時に提出する下記書類により、志望学科での学修に対する適性・意欲を評価します。</p> <p>① 調査書</p> <p>② 志望理由書 「志望学科への進学を希望する理由」及び「大学卒業後の進路・将来の希望」について、記述してください。（大学指定様式。各400字程度、志願者自筆）</p> <p>③ 自己推薦書 これまでの活動や体験に基づいて、志望学科で勉強する適性と意欲を備えていることをアピールしてください。（大学指定様式。800字程度、志願者自筆） また、記載内容について客観的に証明できる資料がある場合は、3点以内（全体でA4用紙3枚以内）で添付してください（添付した資料は返却できませんので、原本を手元に残したい場合は、コピーを提出してください。）。</p> <p>証明資料の例：公的職業資格の資格証、検定試験の成績証、高大連携プログラムへの参加記録、理工学に関わるコンテスト・研究発表会等への参加・入賞記録、理工学に関わるクラブ活動記録など。</p> <p>第2次選抜 第1次選抜の合格者に対して、下記の試験等を実施し、基礎学力・勉学意欲・目的意識・表現力・コミュニケーション力・論理的思考力等を総合的に評価します。</p> <p>① 面接（全学科） 化学・生物化学科：個人面接/25分程度/面接員複数/口頭試問を含む 機械知能システム理工学科：個人面接/15～20分/面接員複数/口頭試問を含む 環境創生理工学科：個人面接/15～30分程度/面接員複数/口頭試問を含む 電子情報理工学科：個人面接/約15分/面接員複数/口頭試問を含む</p> <p>② 小論文（機械知能システム理工学科のみ） 課題は試験当日に提示します。</p> <p>③ プレゼンテーション（電子情報理工学科のみ） 電子情報技術関連のこれまでの優れた活動や電子情報技術利用の新しいアイデア等の自己PRを10分以内で行ってください。 プレゼンテーション用資料（片面印刷。図表を含めてA4用紙2枚以内で、資料が2枚の場合は1部ずつホチキスで留めること。）を5部作成し、試験当日に持参してください。プレゼンテーションに使用できる物は、上記の持参したプレゼンテーション用資料のみとします。ただし、補足説明が必要な場合に限り、本学で用意するホワイトボードに手書きで板書することを認めます。</p>	
出願期間	平成29年8月1日(火)から8月4日(金)	
選抜期日 (第2次選抜)	平成29年9月8日(金)	
合格者発表	第1次選抜	平成29年9月1日(金)
	第2次選抜	平成29年9月27日(水)
その他	アドミッション・オフィス（AO）入試〈専門学科・総合学科特別入試〉学生募集要項（入学願書付）の発表時期及び請求方法については、103・104ページを参照してください。面接時間は状況に応じて変わる場合があります。また、面接時間の長さは可否には影響しません。	